

公印省略

1 農林試第2062号
令和2年2月28日

各関係機関団体の長
殿
各病虫害防除員

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和元年度病虫害発生予察技術情報第9号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第9号（オオムギ網斑病の発生状況及び防除対策）を公表したので送付します。

技術情報第9号

1 作物名 大麦

2 病虫害名 オオムギ網斑病

3 発生状況

2月5半旬に当所が行った調査（県内11か所）では、発生ほ場率45.5%（参考：3月5半旬平年値10.4%）、平均発病茎率3.3%（同平年値1.0%）と平年よりも発生が早く、一部のほ場では多発生（発病茎率25.0%）を確認した（下写真）。



写真 下位葉に発生したオオムギ網斑病（令和2年2月20日）

4 防除対策

- 1) 本病害の進展により早期に上位葉が枯れ上がると、登熟に影響して減収・品質低下を引き起こす。したがって、ほ場での発生程度を確認し、赤かび病の防除時期までに病斑が上位葉に進展すると予想される場合は、進展前に薬剤防除を実施することが望ましい（下表参照）。
- 2) 防除に当たっては、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を順守する。

表 オオムギ網斑病の防除薬剤 ※無人航空機による散布の登録なし

FRAC コード	薬剤名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本成分を含む 農薬の総使用回数
3	チルト乳剤 25	1000 倍	60～150L/10a	収穫 21 日前まで	1 回
3	ワークアップフロアブル	2000 倍	60～150L/10a	収穫 7 日前まで	3 回

5 防除上注意すべき事項

- 1) 今後の発生状況については、病害虫防除所が発表する病害虫発生予察情報に注意する。
- 2) 病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
「福岡県病害虫防除所ホームページ」 <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>

